

め の と



令和6年 3月 14日

長崎市立女の都小学校 校長 佐藤和幸

3月も中旬となり、「令和5年度」もうすぐ終わります。この時期は、進学や引っ越し、転勤などでの「別れの季節」です。とても寂しいことですが、新しい生活や環境、学びに向けての第一歩ととらえることもできます。女の都小学校でも、18日（月）には卒業証書授与式、22日（金）には修了式の後に離任式が予定されています。新しい門出を迎える皆さんに、これまで女の都小学校のために頑張ってくれたことに対して感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ご卒業 おめでとうございます

令和6年3月18日月曜日、28名の子どもたちが女の都小学校を卒業します。小学校の6年間は、心身ともに大きく成長するときです。入学当時と比べると、その成長は驚くほどで、6年生の保護者の皆様は、そのことを実感されているのではないのでしょうか。多くのことを学び、多くのことができるようになりました。全員、女の都小学校の卒業生として胸を張れる子どもたちです。

卒業式には、5年生が在校生代表として出席します。女の都小学校で学び、特にこの1年間は女の都小学校のリーダーとして頑張ってくれた卒業生の卒業を5年生とともに心から祝いたと思います。



5年生へバトンタッチ

6年生が卒業すると、5年生が最高学年となります。そこで3月には、6年生に代わり5年生がリーダーとして活動した取組を行いました。

6年生は、5年生が困ったときのアドバイス役として頑張ってくれました。

① 6年生を送る会

計画や準備の段階から、当日の進行まで5年生主体で行いました。

② 集団下校

下校時の危険個所の確認、下学年の児童の安全確認など下校班のリーダーとして頑張りました。

③ 縦割り活動

縦割り遊びの計画やみんなが楽しめるように気を配った進行などを行いました。

5年生の子どもたち、張り切って活動してくれました。4月からの活躍を期待しています。

東日本大震災から13年

平成23年3月11日午後2時46分に宮城県沖を震源とする大地震が発生しました。地震のエネルギーの大きさを表す「マグニチュード」は9.0、地震の揺れの大きさを表す「震度」は、最大で7が観測されました。地震に伴って発生した津波と大規模火災は被害をより深刻なものとしました。

先日の3月11日（月）女の都小学校では半旗を掲げ、被害にあわれた方々へ哀悼の意を表しました。また、6時間目の授業中だった4年生以上の子どもたちと職員は、午後2時46分に1分間の黙とうを行いました。